

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	GlobalSurg-CovidSurg Week: Determining the optimal timing for surgery following SARS-CoV-2 infection SARS-CoV-2 罹患後の最適な手術時期の検討
研究責任者	研究代表者: NIHR Global Health Research Unit Professor Dion Morton and Peter Brocklehurst 当院研究責任医師: 脳神経外科 東本杏一
研究実施体制	NIHR Global Health Research Unit UK Universities of Birmingham, Edinburgh and Warwick Unit Directors: Professor Dion Morton and Peter Brocklehurst
研究期間	2020年10月1日 ~ 2020年11月30日
対象者	上記期間で当院脳神経外科・脳卒中科・てんかん科手術を受けられる方
研究の意義・目的	SARS-CoV-2 罹患が増加し、今後もさらなる増加が予想される中、SARS-CoV-2 罹患後の患者が手術を受ける際の最適な時期を検討します。
研究の方法	SARS-CoV-2 罹患後の最適な手術時期の検討のための前向き観察国際多施設共同研究です。2020年10月における7日間の手術症例を対象とし、術後30日の状態を把握します。Primary outcomeは術後30日時点での死亡率とし、SARS-CoV-2に術前に罹患した群・術後に罹患した群・術前術後共に罹患しなかった群に分けた解析を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経外科 (氏名)東本杏一 TEL:053-474-2222(代表) 脳神経外科外来 9:00~17:00 平日